

中経連

3・4

2023 March・April

Vol.364

未来につなぐ
地域の文化

重要文化財 名古屋市東山植物園 温室前館



千字
万感

愛知国際会議展示場株式会社
代表取締役社長
モルガン ショドゥレール

特集

中部だより
木曽川中流域における県境を越えた
「賑わい創出」の取り組み

- 提言書：社会実装・国際標準化推進による持続的な経済発展に向けて～経済安全保障への寄与～
- Chubu DX最前線：現場が求めるIoTサービスの開発～「見える化」による生産性向上～

CONTENTS

1 千字万感

人と人をつなぐ場所 –Bringing People together

愛知国際会議展示場株式会社 代表取締役社長 モルガン ショドゥレール

2 提言書

社会実装・国際標準化推進による持続的な
経済発展に向けて～経済安全保障への寄与～



カーボンリサイクル・次世代エネルギーシンポジウム(P11)

4 委員会活動

17 次世代モビリティイベント

18 フォーラム

19 中経連ダイジェスト

23 Garage Nagoya Topics

26 中部だより

木曽川中流域における県境を越えた「賑わい創出」の取り組み

28 Chubu DX最前線

現場が求めるIoTサービスの開発 ～「見える化」による生産性向上～

32 新入会員紹介

(株)おぎそ／在日イタリア商工会議所

34 中部圏主要経済指標

表紙 | 未来につなぐ地域の文化

重要文化財 名古屋市東山植物園 温室前館 (愛知県名古屋市、写真提供:名古屋市東山動植物園)

名古屋市東山動植物園は、1937年からそれぞれで運営していた動物園と植物園が1968年に、「東山動植物園」として一体化され開園しました。面積は約60ha、動物園では日本一の飼育種類数である約450種の動物を、植物園では約7,000種の植物を展示・保有しています。

植物園にある温室は、園の中核施設として1936年に竣工、翌年に植物園とともに開館しました。設計者は名古屋市役所の若手技術者・一圓俊郎氏。デザインモデルは英国王立植物園キューガーデンやドイツのベルリン・ダーレム植物園の温室と云われ、当時「東洋一の水晶宮」と称賛されました。2006年には、温室

前館が国内に残存する最も古く貴重な公共温室として国の重要文化財に指定され、2021年4月には8年の保存修理事業を経て、リニューアルオープン。熱帯や乾燥地帯、南国などの珍しい植物が鑑賞できます。温室の他、植物園には岐阜県から移築した白川郷「合掌造りの家」や、丘陵地の地形や自然林を生かした複数の散策コースもあり、一年を通して多くの人が訪れ、植物に親しんでいます。 参照:名古屋市東山動植物園ホームページ(<https://www.higashiyama.city.nagoya.jp/>)



夜桜さんぽや温室のライトアップ、もみじ狩りなど、さまざまな季節のイベントも実施されている。